

基調講演者

平田オリザ
林 洋子

芸術文化観光専門職大学学長

兵庫県立美術館館長

パネリスト ※登壇者は、都合により変更になる場合がございます。

平田オリザ

芸術文化観光専門職大学学長

林 洋子

兵庫県立美術館館長

太下義之

同志社大学経済学部教授

小林溜音

芸術文化観光専門職大学
専任講師

討論者

中村 稔

兵庫県立大学政策科学研究所特任教授

司会

津田なおみ

甲南女子大学文学部専任講師

3月10日 日

14:00-17:00
(予定)

(開場 13:30)

AI・HALL

参加無料

伊丹市立演劇ホール

定員

会場 150名 / オンライン 500名

※オンライン参加の方は事前にZoomアプリをインストールしてください。
後日いただいたメールアドレスにURL等受講情報をお送りします。

申込

以下QRコードより要登録

※ 締切：2024年3月9日(土)



参加申込フォーム

<https://forms.gle/agQJE2hGHIYir8Vw7>

「持続可能社会の実現のために」

共生と芸術文化

(主催) 兵庫県立大学政策科学研究所

(共催) 芸術文化観光専門職大学、兵庫県立美術館、関西学院大学産業研究所、第22回知の創造シリーズフォーラム

(後援) 伊丹市、豊岡市、(公財)兵庫県芸術文化協会

開催趣旨

本シンポジウムでは、芸術文化の社会的貢献に注目しました。芸術文化の性質を社会生活に組み込むような施策が、これからの社会においてますます重要になると考えられるためです。

日本社会では、言語・文化の均質性が高いため、国民性として「暗黙の了解」や「行間を読む」ことが好まれます。しかし、社会のグローバル化が進むと、異文化と出会う機会が増えることで、誤解や衝突が生じることは避けられません。したがって、グローバル社会でのコミュニケーションは、まずは私たちが「互いに分かり合えない」という前提にたつて行うことが重要です。その上で、私たちが元来もつ「共感」する力を使い、異なる文化や価値観をもつ人々の悩みや苦しみの原因を把握することで、持続可能な「共生」に向けた一歩が築かれます。

芸術は、時として言語を使わずとも人々の心を動かすことができます。そのため、国内の芸術文化諸資源を効果的に活用することで、異文化と異文化の間、日常生活と非日常の間などにあるバリア（障壁）を緩和・解消することが期待できます。本シンポジウムでは、芸術文化施設、担い手の成長、社会・政策支援の中長期的連携に着目しながら、グローバル社会等における芸術文化の社会的貢献について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

アクセス

<電車でお越しの場合>

- ・ JR大阪駅より宝塚線利用（所要時間約15分）JR伊丹駅下車 改札より西側すぐ
- ・ 阪急大阪梅田駅より神戸線塚口駅乗換伊丹線利用（所要時間約22分）阪急伊丹駅下車 東へ徒歩約10分

<車でお越しの場合>

- ・ 尼崎方面より：産業道路（尼崎池田線）を北上し「伊丹郵便局前」交差点右折、約200m進む
- ・ 川西方面より：産業道路（尼崎池田線）を南下し「伊丹郵便局前」交差点左折、約200m進む
- ・ 高速道路でお越しの方：阪神高速豊中北出口より府道（県道）99号を西へ、伊丹空港の地下トンネルを通過し、「伊丹1」交差点を左折、「伊丹郵便局前」左折、約200m進む

※ 伊丹市立アリオ地下駐車場をご利用ください。（注：アイホールの専用駐車場ではありません）

※ 高さ2mまでの普通乗用車しか入庫できません。

※ 料金：乗用車30分150円（日・祝のみ1日上限1,200円／24時迄）



【お問い合わせ】

〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1 兵庫県立大学政策科学研究所

☎(078)794-5302 FAX (078)794-6218 ✉ ipshyogo@gmail.com